

1 歯科領域における臨床検査
2 -むし歯予防検査について-

3
4 ○秦暢宏 水野由喜子 吉橋裕子 田村美智 草野義
5 久（東京歯科大学千葉病院臨床検査部） 川原由里香
6 （東京歯科大学水道橋病院臨床検査室）

7
8 【目的】東京歯科大学千葉病院では1999年1月より
9 「むし歯予防検査」としてセット項目を組み、唾液
10 を検体として検査を行なってきた。2011年9月現在
11 の統計と今後の展開について報告する。

12 【方法】パラフィンワックスを三分間嚙み採取した
13 唾液を検体とし流出量、pH、緩衝能、総菌数、ミュー
14 タンス、ラクトバチルス、Candida の検査を行なった。
15 対象は2011年9月現在検査を行なった患者3576名
16 中、7項目全ての検査を行なった3443名を対象とし
17 た。測定結果毎にポイント(P)を設定し総計で10P
18 以上をハイリスクとした。

19 【結果】評価を行った。測定を行なった3443名中
20 1181名(34%)がハイリスク郡に分類され2262名
21 (66%)がローリスク郡となった。

22 【考察】対象とした患者の34%がハイリスク郡とな
23 り、潜在的に口腔衛生環境が悪い患者が多いことが
24 示唆された。

25 【結論】歯科領域における臨床検査は現状で実施し
26 ている施設は少ないが、口腔衛生状況の悪化が様々
27 な全身疾患のリスクを高めることも報告されており、
28 これからの臨床検査において口腔領域の衛生状況を
29 把握することは重要と考えられた。

30 043-270-3920
31
32
33
34
35
36
37
38
39